

# 令和7年度の事業報告

(令和7年4月1日～令和8年3月31日)

公益財団法人人権擁護協力会

## 1 事業の概要

### (1) 人権啓発活動

#### ア 小学校低学年向け人権啓発冊子『種をまこう』の作成・配付等

小学校低学年（1～3年生）を対象に、人権教室等を実施して「人権の共存」の重要性を分かりやすく説明し、人権教育を行うことを目的として人権啓発冊子「種をまこう」（小学校低学年向け）を有償頒布した。

なお、令和8年度における日本宝くじ協会からの助成事業は、小学校低学年向けを31万1千800部作成配付する予定として、令和7年10月に、日本宝くじ協会に助成の申請を行った。

#### イ 小学校中・高学年向け人権啓発冊子『種をまこう』の作成・頒布

小学校中・高学年（4～6年生）を対象に、人権教室等を実施して「人権の共存」の重要性を分かりやすく説明し、人権教育を行うことを目的として人権啓発冊子『種をまこう』（小学校中・高学年向け）を有償頒布した。

#### ウ 中学校用の人権啓発冊子『種をまこう』の作成・頒布

中学生を対象に、人権教室等を実施して「人権の共存」の重要性を分かりやすく説明し、人権教育を行うことを目的として人権啓発冊子『種をまこう』（中学校用）を一般財団法人日本宝くじ協会からの助成により28万1千部作成し、令和7年6月末までに全国の人権擁護委員協議会（298か所）に配付した。

この『種をまこう』作成・配付事業は、令和8年1月27日、全国人権擁護委員連合会から活用報告を受け、同年2月5日、日本宝くじ協会に対して事業完了報告及び助成金交付申請を行い、同月27日に助成金を受領した。

#### エ 人権擁護推進団体等との連携の強化

(ア) 北朝鮮による拉致問題について、法務省及び全国人権擁護委員連合会等と連携して、令和7年12月14日（日）、福井県県民ホール「アオッサ」において開催された「拉致問題を考える講演会とコンサートの集い」を協賛した。

講演会 講師 地村 保志 氏

演題 「拉致問題と人権」～拉致被害者の体験～

コンサート 福井県立福井農林高等学校郷土芸能部和太鼓演奏  
「ゴールデンエイジふくい」合唱

出席者 理事長 中村浩紹

- (イ) 全国人権擁護委員連合会と企業との連携について、令和7年12月17日(水)、札幌市において開催された「全国人権擁護委員連合会と企業との連携シンポジウム」に協賛した。

基調講演 講師 山田 美和 氏(日本貿易振興機構・ジェトロ)

演題 「ビジネスにおける人権尊重の在り方」

パネリスト 「企業の成長と人権」

パネリスト 奥田 理 氏(株式会社トリホールディングス)

川根 範也 氏(株式会社北洋銀行)

朝倉由紀子 氏(SOC株式会社)

富田 訓司 氏(株式会社リペアサービス)

コーディネーター 八代眞由美 氏(札幌人権擁護委員連合会副会長)

- (ウ) 全国人権擁護委員連合会総会時に開催されていた人権啓発研究大会については、開催されなかった。

令和7年6月27日(金)、新潟市の新潟日報メディアシップにおいて開催された「関東ブロック人権擁護委員連合会大会・新潟研究大会」に出席した。

講演会 講師 曾我 ひとみ 氏

演題 「拉致を風化させないために」

出席者 理事長 中村浩紹

- (I) 人権擁護活動に呼応するクリーンな団体等へ、会員入会・寄附等を依頼し、当会の財政の充実を図ることについて、公証人に対し、会員入会・寄附の依頼を行った。

## (2) 人権擁護活動に取り組む団体及び個人への支援

### ア 中学生に対する『書画で見る世界人権宣言』誌の贈呈

世界人権宣言の周知及び人権意識の向上を図ることを目的に、全国中学生人権作文コンテストへの支援として、都道府県における地方大会入賞者に対し、副賞として『書画で見る世界人権宣言』誌1,011冊を贈呈した。

### イ 東京都人権啓発活動ネットワーク協議会による啓発活動

東京都人権啓発活動ネットワーク協議会の構成員として、憲法週間及び人権週間行事、「高校生の人権メッセージ」、「人権啓発ポスター交通広告」及びス

スポーツ組織と連携協力した啓発活動等を共催・実施し、人権意識の普及高揚を図るため、東京都人権啓発活動ネットワーク協議会の決定に基づいて具体的な啓発活動等に取り組んだ。令和7年度で取り組んだ活動は、次のとおり。

(ア) 「高校生の人権メッセージ」作品の採点作業

令和7年8月1日（金）、選考委員会

担当者 専務理事 東博之

(イ) 「人権啓発ポスター交通広告」作品の採点作業

担当者 専務理事 東博之

(ウ) 「都民の人権川柳」作品の採点作業

担当者 専務理事 東博之

(I) 「スポーツ組織と連携協力した啓発活動」

令和7年11月30日（日）、味の素スタジアムにおける啓発活動

参加者 専務理事 東博之

## ウ 人権講演会への講師の派遣

人権擁護活動に取り組む団体等が開催する人権講演会等に講師を派遣する事業は、令和7年5月29日（木）に宮城県人権擁護委員連合会総会時の委員研修会に、講師として早瀬詠一郎氏を派遣した。

## (3) 人権啓発活動に携わる方々の能力開発及び人材育成支援

### ア 人権情報誌『人権のひろば』の作成・配付

人権情報誌『人権のひろば』を年6回奇数月に発行し、人権擁護活動に必要な知識やノウハウを提供するとともに、人権相談の参考としてカウンセリングの具体例、各地の人権啓発活動の紹介、新法令の解説等を掲載し、人権擁護委員等の能力開発・支援に供した。

- |                   |               |
|-------------------|---------------|
| ① 第163号（令和7年5月号）  | 令和7年4月30日発行済  |
| ② 第164号（令和7年7月号）  | 令和7年6月30日発行済  |
| ③ 第165号（令和7年9月号）  | 令和7年8月29日発行済  |
| ④ 第166号（令和7年11月号） | 令和7年10月31日発行済 |
| ⑤ 第167号（令和8年1月号）  | 令和8年1月9日発行済   |
| ⑥ 第168号（令和8年3月号）  | 令和8年2月27日発行済  |

### イ その他の人権研修参考資料の作成・頒布

(ア) 『人権よろず困りごと相談－事例Q&A－』の頒布

『人権よろず困りごと相談－事例Q&A－』[第3版]を頒布し、人権擁護委員の適正な職務執行に供した。

(イ) 『人権擁護委員必携（第六版）』の頒布

『人権擁護委員必携（第六版）』を頒布し、人権擁護委員の適正な職務執行に供した。

(ウ) その他

人権に関する啓発資料（パンフレット等）を作成し、人権擁護委員等が行う啓発活動における利用に供する。

#### **(4) 人権関係情報の収集及び広報活動**

##### **○ ホームページによる情報提供の充実**

ホームページにより、当会のPRを積極的に行うとともに、2か月に1回『人権のひろば』誌の内容等を更新し、人権関係記事等の充実を行うなどして人権思想の普及高揚を図った。

## **2 会議等**

### **(1) 役員会等**

#### **ア 理事会**

第1回定時理事会を令和7年5月23日（金）に開催した。

第2回定時理事会は令和8年3月4日（水）に開催した。

#### **イ 評議員会**

定時評議員会を令和7年6月11日（水）に開催した。

#### **ウ 監査**

期末監査を令和7年5月14日（水）に実施し、中間監査を令和7年10月23日（木）、令和8年2月18日（水）に実施した。

### **(2) 『人権のひろば』編集会議等**

**ア** 『人権のひろば』編集会議を、令和7年5月28日（水）、同年7月30日（水）、同年9月24日（水）、同年11月19日（水）、令和8年1月26日（月）、同年3月27日（金）に開催した。

**イ** 拡大編集会議は、『人権のひろば』編集委員及び同編集協力員に対し、「編集評価の取りまとめ」を配付する紙上開催の方法により実施した。

## **3 附属明細書**

一般法人法第123条第2項に定める附属明細書について、同法施行規則第34条第3項に定める事業報告の内容を補足する重要な事項はない。